



# としょだより



## 家族といっしょに



★第2号★

平成26年4月15日  
たかねにししょうがっこうとしょかん  
高根西小学校図書館



## 読書を楽しみましょう！

みなさん、『うちどく』という言葉を知ったことはありますか？図書室にも家読コーナーがあるので、1度は耳にしたり目にしたりしたことがあると思います。うちどくは、漢字では『家読』と書きます。漢字を見て、もう分かった人もいると思いますが、『家読』とは、**家族みんなで読書をする**という意味です。みなさんは、お父さんやお母さん、おじいちゃんやおばあちゃんに本を読んでもらったことがありますか？また、弟や妹に本を読んであげたことはありますか？一人で集中して読書をするのも楽しいですが、家族みんなで1さつの本を読んで、その本のことで、感じたことを話し合うというのも、とても楽しいですよ！ぜひ、みなさんも家読にチャレンジしてみましょう♪

### ○「家読」ってどうやってやればいいの？

家読のやり方に特に決まりはありません。基本は、“読んだ本について家族で話す”ということだけです。それぞれのお家で工夫してみてください。ここでは、家読の進め方をいくつか紹介するので、参考にしてください。



- ★家族みんなで好きな本を読む。
- ★読んだ本について家族で話をします。
- ★家族で同じ本を読む。
- ★お互いに本をすすめあう。
- ★家族そろって本屋さんか図書館などで本を選ぶ。

TOHAN「うちどく実践ガイド」より



### ○おすすめの本はあるの？

昨年、山梨県立図書館から「家読100選」という冊子が出されました。裏面にコピーしましたので、本選びの参考にしてくださいね。

### ☆☆☆お家の方へ☆☆☆

子どもたちが、これからの変化の激しい時代の中を立派に生きていくために必要な基礎となる力を身につけることが求められています。家読とは、「家族みんなでお家で読書」を略したものです。家族みんなで本に親しみ思いを共有する時間は、簡単には折れることのない「しなやかな心」を育ててくれるはずで、本校でも、家読の取り組みを実践していきたいと考えておりますので、その際にご協力をよろしくお願いいたします。

昨年の冬に「山梨県教育委員会しなやかな心の育成プロジェクト」から出された資料も右面に掲載させていただきますので、読んでいただければと思います。

### 【訂正とお詫び】

4月11日に出ささせていただいた「としょだより」で、おはなしの打ち合わせ会の実施日を4月21日とお知らせしてしまいましたが、正しくは**4月17日(木)**です。おはなしや募集の通知の日程が正しいのでそちらをご覧ください。大変申し訳ありませんでした。

## 小学生の保護者のみなさまへ

県教育委員会では、自分や他人の生き方・存在を認め合い、自他を敬愛する、子どもたちの「しなやかな心」を社会全体で育てるために「しなやかな心の育成プロジェクト」を推進しています。社会教育課では、プロジェクトの一環として、「家読（うちどく）推進運動」（家庭での家族間の読書活動）に取り組んでいます。

では、なぜ「家読」に取り組むのでしょうか？ それには理由があります。

### 家族と話す時間が増えます

普段、お子さまと思いやりや勇気、友情や夢、生き方などについて、話をする時間はありますか？ 毎日、慌ただしく過ごしている中で、家族みんなで話す時間を確保することは、難しいですよね。しかも、親子で面と向って、そのような話をするのは、ちょっと照れくさい…という方もいるのではないのでしょうか。

でも、1冊の本を「読む」ことをとおして、家族でその1冊について話してみると、案外照れくさくなく、友情や生き方などについて、みんなで意見を交わし合うことができるんです。

その会話をとおして伝えられないかと思いませんか？

1冊の本を介して、家族を試みませんか？



られることが、互いにあるのでは

のコミュニケーションを深め

### 家読は、

### 人生を豊かにします

国立青少年振興機構では、「子どもの頃の読書活動」と「成長してからの意識・能力」についての関係性を明らかにするために、全国で成人約5千人、中高生約2万人を対象に調査をしました。その結果、子どもの頃の読書活動が、成長してからの意識・能力に大きな影響を及ぼしていることがわかりました。

○子どもの頃の読書活動が多い大人ほど、未来志向や社会性などの「意識・能力」が高いことがわかりました。また、子どもの頃に読書活動が多い大人ほど、ボランティア活動に参加している人が多い傾向にあります。

○大人と同様に、子どもの頃（就学前から中学時代）の読書活動が多い中学生や高校生ほど、現在の「意識・能力」が高いことが。例えば、小学校に入学する前や低学年時に読書活動が多かった中学生や高校生は、人を思いやる気持ちや社会のルールを守る意識などの能力が高い傾向があります。

～出典：独立行政法人 国立青少年教育振興機構「子どもの読書活動の実態とその影響・効果に関する調査研究」より～

## この冬、ご家族で家読をしてみませんか？

<参考HP及び問い合わせ先>

○家読のやり方について      うちどく.com 家読推進プロジェクト      <http://uchidoku.com>

○県の取り組み、家読クイズについて      \*家読クイズは、12月24日HPにUPします

山梨県HP      [http://www.pref.yamanashi.jp/shakaikyo/shinakoko/syakyo\\_torikumi.html](http://www.pref.yamanashi.jp/shakaikyo/shinakoko/syakyo_torikumi.html)

山梨県教育委員会社会教育課      055-223-1773



④ 5, 6年生... ③ 3, 4年生... ② 1, 2年生... ①